

次世代に継承される 棚田の風景

周囲の自然と溶け込む棚田の風景は、訪れる人に安らぎを与える原風景として映ります。しかし、地域の自然や歴史、文化とともに先祖から長年守り継がれてきた棚田が、集落人口の減少や高齢化により担い手の確保が課題となっている地域は全国的に増加しています。ここでは、美しい風景を維持しながら新たに農業を始めた人との交流も進む阪原と細川谷を紹介します。

阪原

平成14年に、ほ場整備*を竣工し、営農組合により組織的に農業を営む阪原は、奈良県内では最も規模の大きい棚田で、棚田の保全活動を集落全体で進めています。毎年秋には、休耕田に作付されたコスモスを舞台にコスモス祭が開催され、大勢の人で賑わいます。

*ほ場整備 農地の区画整理のほか、農道や農業水路の整備を行うこと。



1. ほ場整備が進んだ広大な棚田が集落に広がっています。2. コスモス祭では、コスモスのつみ取り体験が楽しめます。3. 棚田米オーナーで、地区内の市民農園を借りて農業を楽しみ阪原を何度も訪れている西澤さん。阪原の魅力について「春や秋の青空は、何物にも代え難い美しさですよ」とお話しくださいました。

細川谷

傾斜の度合いの大きい細川谷では、農業は手作業に頼ることが多くなります。二上山に沈む夕陽を背景に、維持管理の行き届いた棚田が織りなす美しい風景は、細川谷ならではの文化的財産として地域の人たちに受け継がれてきました。また、撮影スポットとして多くの人を訪れます。



1. 田植えの時期には、水面に太陽や夕陽が反射する美しい光景が見られます。2. 明日香村で農業を始めるため、大阪から移住してきた佐藤さんとその息子さん。今年4月から細川で稲作を始めています。近くの西本さんの畑で農業を手伝いながら農業を教わっています。「電気柵まわりの草刈りの仕方など、いろんなことを丁寧に教えてくださるので、有難く思っています。この景色と匂いも、とても好きです」と充実した生活を垣間見ることができました。

棚田農家のメッセージ



米づくりや
コスモス祭の運営を、
集落のみんなで
頑張っています

やまもと まさかず
阪原営農組合 組合長 山本 雅一 さん・右
とうい たけし
阪原営農組合 副組合長 東井 武 さん・左

農地を所有しない農家も集落協定に参加し、特に田植えの季節はみんなで作業を行います。また、都市部の人との交流の場になればと思い、コスモス祭を毎年開催しています。
阪原は県内で稲刈りシーズンが最も早く、8月末から稲刈りがスタートします。寒暖差の激しい気候が甘みのあるお米を育てるようで、以前の食味検査では特A評価を受けたこともあるんですよ。

Contact 連絡先 Data
傾斜 1/20 以上の棚田 32.1ha
人口 239人 (令和3年)

阪原
奈良県奈良市阪原町 818-1 (阪原営農組合ライスセンター)

Access アクセス
奈良交通バス「阪原中村」バス停よりすぐ
近鉄奈良駅より車で35分

Check! ミニ情報
阪原コスモス祭

10月第3日曜に開催。さつま芋掘り・コスモスつみ取り体験のほか、草もち・生芋コンニャク・新米・黒枝豆・新鮮な野菜等の直売なども行います。

〈棚田米オーナー〉
1口1万5千円、玄米60kg保証。コスモス祭当日に新米の引き渡しを行っています。

棚田農家のメッセージ



変わらない棚田の
風景が、これからも
ずっと続いてほしい

にしもと あきお
西本 彰夫 さん

朝8時から8時間働き、夜9時に寝る生活のリズムで農業に勤めています。最近はお米と向き合う時間が長いからか、お米が僕に成長度合いを話しかけてくれるんです。
生まれてからずっと細川で暮らしていますが、道を通ったぐらいで風景はほとんど変わらない。今後もこの風景が守られることがベストだと思っています。そのためにも、新しく農業をやりたい人が来てくれると嬉しく思いますし、ほっとけないですね。

Contact 連絡先 Data
傾斜 1/20 以上の棚田 18.01ha
人口 201人 (令和4年)

細川谷
奈良県高市郡明日香村細川

Access アクセス
明日香周遊バス「かめバス」石舞台バス停より徒歩20分
京奈和自動車道 榎原北インターチェンジの交差点より車で25分

Check! ミニ情報
夕陽の撮影シーズン

5月下旬から6月の田植えの時期に加え、10月上・中旬の稲刈り前も黄金色に輝く稲穂と夕陽のコントラストが映える光景が見られます。